

様式 4

**令和 6 年度第 1 回  
富士見市健康づくり審議会  
議事録**

<b>日 時</b>	令和 6 年 8 月 9 日 (金)		開会 午後 1 時 3 0 分			
			閉会 午後 3 時 0 0 分			
<b>場 所</b>	富士見市役所 全員協議会室					
<b>出席者</b>	<b>委 員</b>	日鼻 会長	衛藤 副会長	阿由葉委員	石川委員	梅田委員
		○	○	○	○	○
		榎本委員	本間委員	海老原委員	齊田委員	鈴山委員
		○	○	○	欠	○
		戸塚委員	廣井委員	長堀委員	島田委員	富士原委員
		○	○	欠	○	○
		牧委員	森委員	山本委員	吉田委員	渡辺委員
		○	欠	○	○	欠
	<b>事務局</b>	健康福祉部 鈴木部長 健康増進センター 山崎所長、齊藤副所長、平副所長、三浦係長、奥田主査、中村主任、神庭主事 子ども未来応援センター 村井副所長				
<b>公開・非公開</b>	公開 (傍聴者なし)					
<b>議 題</b>	別紙「令和 6 年度 第 1 回富士見市健康づくり審議会次第」					
<b>議 事 内 容</b>						
<p>1 開会 (富士見市健康づくり審議会条例第 6 条により、委員の過半数の出席がある為、本日の令和 6 年度第 1 回富士見市健康づくり審議会が成立する旨の報告が行われた。)</p> <p>2 事務局紹介 (自己紹介)</p>						

### 3 委員紹介（50音順に自己紹介）

### 4 資料について事務局より説明

### 5 議題

（1）「いきいき健康&歯っぴーライフ☆ふじみ（富士見市健康増進計画・食育推進計画、富士見市歯科口腔保健推進計画 後期計画）」令和5年度の進捗状況について

**事務局：**資料に基づき、進捗シートの見方や評価方法について説明

#### 【第1節 栄養・食生活】

**事務局：**資料に基づき、栄養・食生活について説明

#### <質疑・意見>

**委員：**食生活改善推進員が減少しているのはなぜか。対策はあるか。

**事務局：**食生活改善推進員を養成するヘルスマイト養成講座は隔年で行っており、令和5年度は受講者14名のうち、12名が推進員になった。令和3年度は申し込みが1名あったが中止となった。令和4年度と令和2年度については、養成講座未実施の為、推進員の募集はなかった。コロナ禍やその他の事情で辞めた推進員がいた為、人数が減少した。来年度は養成講座を実施する予定である。養成講座開催についてチラシやPR活動等で周知したい。

#### 【第2節 身体活動・運動】

**事務局：**資料に基づき、身体活動・運動について説明

#### <質疑・応答>

**委員：**健康マイレージ事業の参加者について、令和5年度は目標を上回る実績だが、目標数を見直し増加させないのか。参加方法が歩数計からスマートフォンに変更になったが年配者の参加についてはどうか。

指標「フレイルを知っている割合」の令和3～5年の実績がないのはなぜか。パワーアップ体操のクラブ数は減少しているが、参加者は増加しているように感じるがどうか。

**事務局：**健康マイレージ事業については令和6年度からコバトンALKOOマイレージに変更になり、目標数を達成していない。公民館まつりや公共施設で操作方法等の説明会を行い、年配者の参加の支援をしている。たくさんの方に参加していただけるようにしていきたい。

指標「フレイルを知っている割合」について、令和2年度の計画策定時にアンケート調査を行った結果を記載している。次回調査は令和7年度に行う予定である。

**事務局：**パワーアップ体操クラブは、コロナ禍で放課後児童クラブを会場として使用できなくなり解散をしたクラブがあった。しかし、集会所などを使用し新しいク

ラブを作っており増加傾向にある。参加者もコロナ禍で減少したが、徐々に増加している。

**委員**：パワーアップ体操の会場の予約が取りにくいと聞いたが現状はどうか。

**事務局**：公民館や交流センター等、会場によっては予約が取りにくいところもある。集会所等は年間を通してほぼ希望通りの活動ができている。

### 【第3節 健康管理】

**事務局**：資料に基づき、健康管理について説明

<質疑・応答>

**委員**：特定健診やがん検診の受診率が低いのはなぜか。

**事務局**：特定健診受診率を上げる為の取り組みとして、未受診者への電話勧奨や30代対象に人間ドック検査料の助成やスマホドックという事業を行っている。40歳以降は特定健診が受けられることを周知し受診率向上に努めている。

**事務局**：がん検診の受診率向上を目指しウェブでの予約を取り入れた。乳がん検診対象者は若い世代が多く、ウェブに馴染んでおり受診率が増加したと考えられる。しかし、前立腺がん検診対象者は高齢者が多く、受診率が低下した。対象者を合わせた周知の方法については検討をしていく。

**委員**：特定健診は無料だが、肺がん検診や大腸がん検診は500円かかる。無料にできたら受診率が増加するのではないか。

**委員**：人間ドックを含めた受診率は把握をしているのか。

**事務局**：特定健診受診率には、国保加入者の人間ドック受診者も含まれている。

**委員**：病院に行くと特定健診受診者は多そうだが実際はどうか。

**委員**：2市1町の統計では、ふじみ野市の方が受診率が高い。富士見市は5%くらい受診率が低い。啓蒙不足もあると思うが、肺がんと大腸がん検診も無料になると、受診率が少し上がるのではないか。

**委員**：前立腺がん検診を特定健診に入れ込むことはできないのか。

**事務局**：特定健診に入れ込むことは難しい。受診日は変わるが、特定健診を受けた方もがん検診を受けられる。がん検診について周知をしていきたい。

**委員**：施設によっては特定健診受診時に前立腺がん検診を勧める場合がある。高齢者等は症状を伴うことがあり、「前立腺がんの疑い」として保険適応で行うことが多い。それを集団でやるのか、個別で入れ込むのかは検討が必要。集団検診は受診後の指導が不十分になることもある。近くの病院で指導も行うのが良いが、費用等の検討が必要。

**委員**：医師から特定健診時に前立腺がん検診を勧めて欲しいのだがどうか。

**委員：**2市1町や富士見医師会などで話し合いが必要。費用等の問題もある。検討課題としたい。

(2) 令和7年度実施予定の市民意識調査「富士見市健康に関するアンケート調査(案)」について

**事務局：**資料に基づき、市民意識調査について説明

**委員：**「自分の普段の健康状態についてどう思いますか」の質問について、自分では健康だと思っているが、病院にかかっていたら不健康なのか。健康の定義が分からない。

**株式会社 名豊：**健康の定義は各個人によって変わる。体の健康だけでなく心の健康も捉え、主観的健康観を把握していく。他の質問とクロス集計をすることで背景も捉えながら把握できると考えている。

**委員：**「自身の適正体重を知っていますか」の質問は高校生だけではなく中学生へのアンケートにも入れると良いのではないか。

**株式会社 名豊：**中学生へのアンケートにも入れることを検討する。

**委員：**1日の歩数を高校生が答えることはできるのか。他に方法はないか。

**株式会社 名豊：**時間で歩数換算をする方法など質問の仕方を工夫していく。平日と休日では歩数に違いがあるので平日に限定するなど検討していきたい。

**委員：**小学校毎に1クラスの人数に差があるが、調査対象は1クラスで良いのか。

**事務局：**1クラスで調査することを考えている。

## 6 連絡事項

事務局より第2回健康づくり審議会とアンケート調査(案)について説明  
健康&歯っぴーライフ☆シンポジウムについての案内

## 7 閉会

(副会長からあいさつが行われた)